



令和2年9月4日に白塚小学校で開催された、認知症キッズサポーター養成講座に参加してきました。



白塚地区では地域全体で「認知症の方にやさしいまちづくり」に取り組んでいます。今回は4年生のみなさんと一緒に認知症について勉強しました。



↑講座の先生は津中部北地域包括支援センターのみなさん

白塚地区社会福祉協議会 伊藤会長↑

認知症ってなんだろう

認知症は、さまざまな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりするために起こる脳の病気です。

認知症になるとおこること

★脳の細胞が死んでしまうことによって直接起こる症状

- 覚えられない ○忘れてしまう
- 時間や月日、場所、人がわからなくなる
- 考えるスピードが遅くなる
- 計画を立てられない、計画どおりに出来なくなる
- 新しい機械が使えなくなる

★性格や環境、心の状態によって起こる症状

- 元気がなくなる
- 道に迷って家に帰れない
- 「ものを盗られた」と思い込む

周りの人の助けがあればよくなります



みんなで認知症の人をささえよう

認知症の人は自分が今までとは違うと感じ、誰よりも苦しみんだり、悩んだり、悲しんだりしています。だから周りの人が認知症の人の不安な気持ちを感じとったり、何に困っているかを気づいて、やさしく声をかけることが大切です。

今日からみんな、認知症キッズサポーターです！！

認知症の人にはやさしくしてあげたいです！

認知症のことを勉強したので、お父さん、お母さんにも教えてあげたいです



生活支援
コーディネーター通信
※生活支援コーディネーターは地域のみなさんとともに地域での支え合いの仕組みづくりに取り組んでいます。



Vol.14

令和2年9月4日



白塚小学校 認知症キッズサポーター養成講座



認知症の人を応援する目印として「オレンジリング」が渡されました。→



認知症のおばあちゃんへの接し方について、寸劇を見ながら勉強しました。孫の「はなちゃん」がやさしく接することで、おばあちゃんは、安心して笑顔になりました😊

講座で紹介された ↑ 絵本 「ぼあばはだいじょうぶ」